

# 国際交流員コラム 木津川市の皆さんへ vol.17

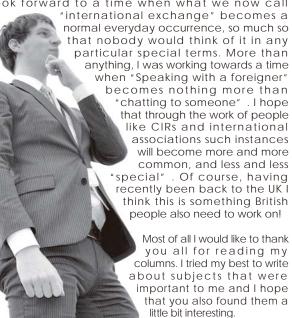
# マスのJAPAN見聞録

#### Goodbye Kizugawa

By the time you read this I will already have left Kizugawa to begin my new life as a Tokyo salary-man. This has been a rather sudden change but it's something I'm very much looking forward to. In many ways, I had always planned this after I completed JET, though the timing has been a little bit earlier than I had expected.

When I think back on my year and a half here, I'm very grateful for the kindness everybody in Kizugawa has shown to me. My coworkers in the city hall were immediately welcoming and open and everyone else I have had the pleasure of meeting in and around the city has left an impression on me. At the moment, I'm not sure when exactly my successor will arrive, but I'm sure that you will show the same kindness to them as you have to me.

When I think of the work of CIRs here in Japan, my suggestion for the future is that "International Exchange" too often seems like a "special designated activity" . I look forward to a time when what we now call



I wish all of you the very best in the future.

Sayonara!

## トーマス・アーノット プロフィール



23歳、イギリス出身、1年間神 戸大学に留学経験あり バーミンガム大学物理学部卒。 好きなもの:大阪、京都、ケーキ、 スラムダンク、ヱヴァンゲリヲン 趣味:買い物、テニス 苦手なもの:梅干、納豆

## さよなら木津川市

皆様がこの記事を読むころには、私はもうすでに 木津川市からいなくなっているでしょう。突然のこ とですが、東京でのサラリーマンの生活が 2 月から 始まりました。申し訳ありませんが、ある意味で私が ずっと前から決めたことです。国際交流員の仕事が 終了したら、一般企業に就職したいとは思っていま したが、実際はタイミングが思っていたより早くな りました。

この一年半のことを考えると、やはり何よりも木 津川市民の優しさが浮かんできます。木津川市に着 いた日から、市役所の同僚はいつも元気に迎えてく れましたし、街で会った人々からもいつも優しく声 をかけて頂きました。次の国際交流員がいつ来るか わからないのですが、木津川市の方々なら優しく歓 迎してくれるに違いないと思っています。

国際交流員の仕事や、将来のやるべきことを考え ると、私にとって、特に印象的だったのは、「国際交 流」がよく「特定活動」のように思われていることで す。今後は、日本における「国際交流」が、特別なもの ではなく、普通の日常的なことになることを願って います。私自身も、国際交流員として、「外国人」と話 すということではなく、「人」と触れ合うという意識 をもって頑張りました。

そして、国際交流員などで日本に来ている外国人 や、国際交流協会などの努力のお陰で、いつかこのこ とが現実になると思います。

ただ、先般、気づいたのですが、私の母国のイギリ スも、国際交流に関しては、まだまだです!

お互いに頑張りましょう!

最後に、この度は、私の記事を読んでいただいて、 心よりありがたいという気持ちを何よりも伝えたい です。毎月、私にとって重要なテーマを選んだので、 少しだけでも気に留めて下されば幸いです。

お世話になりました。 Good bye!